

かごしま多文化共生社会推進事業応募書類 記載要領

応募書類については、下記項目について全て確認の上、作成をお願いします。

補助事業の選定は、審査基準に基づき、原則応募書類をもとに行います。
※できる限り、ワープロ打ちで作成をお願いします。
(手書きの場合は、楷書で丁寧に記載してください。)

【審査基準】

① 事業目的

取組の目的が明確で、在留外国人が住みやすく、また、在留外国人と地域住民の交流を促進する取組等であるか。

② 事業内容の実現性

事業内容や実施体制は、具体的で実現可能な事業であるか。

③ 収支計画の妥当性

収支計画は、事業内容に見合っており、補助金が有効に活用されるものとなっているか。

④ 事業の継続性

事業終了後も、事業成果を活かした取組が行われることが見込まれるか。

⑤ その他、参加する在留外国人数等を総合的に勘案することとする。

I 応募書(第1号様式)

日付	<input type="checkbox"/> 提出する日付を記入してください。(令和〇年〇月〇日)
応募者	<input type="checkbox"/> 応募者の住所・団体名・代表者の役職名・氏名を正しく記入してください。
担当者の連絡先	<input type="checkbox"/> 必ず連絡がとれる連絡先を記入してください。

II 事業計画書(第1号様式別紙1)

申請団体	<input type="checkbox"/> 応募書(第1号様式)に記入した応募団体と同じ団体名を記入してください。
取組名	<input type="checkbox"/> 分かりやすく簡潔に記入してください。
趣旨・目的	<input type="checkbox"/> 本補助事業の趣旨、対象となる事業(募集要項1, 3参照)に留意しながら、目的を明確に記入してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p><審査基準①> 取組の目的が明確で、在留外国人が住みやすく、また、在留外国人と地域住民の交流を促進する取組であるか。</p></div>
実施時期	<input type="checkbox"/> 令和8年2月15日までの実施時期を記入してください。

実施回数	<input type="checkbox"/> 実施回数も忘れず記入してください。
実施場所・施設名	<input type="checkbox"/> 講座開催場所や、交流会開催場所について記入してください。 <input type="checkbox"/> 会場名の後ろに、市町村名等を括弧書きで記入してください。
内容	<input type="checkbox"/> 実施内容をより具体的に記入してください。 <input type="checkbox"/> 事前準備等の内容についても記入してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><審査基準②></p> <p>○事業内容や実施体制は、具体的で実現可能な事業であるか。</p> <p>○取組の工夫はあるか。</p> </div>
参加者数(うち在留外国人参加者数)	<input type="checkbox"/> 事業の参加人数を記入してください。 <input type="checkbox"/> 参加人数のうち、在留外国人の参加者数を記入してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><審査基準⑤></p> <p>○多くの在留外国人の参加が見込まれるか。</p> </div>
うち一般参加予定者数	<input type="checkbox"/> 地域住民等の参加予定者数を記入してください。
期待される効果	<input type="checkbox"/> 本補助事業の趣旨について留意しながら、事業の実施により期待される効果について、事業内容と関連づけて、明確に記入してください。(より高い効果が得られるよう、事業内容の工夫をお願いします。)
事業終了後の取組内容	<input type="checkbox"/> 事業成果の活用方法や、取組の予定について記載してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><審査基準④></p> <p>事業終了後も、事業成果を活かした取組が行われることが見込まれるか。</p> </div>

III 団体の概要 (第1号様式別紙1)

団体の概要	<input type="checkbox"/> 団体名、住所(所在地)、代表者(職・氏名)、電話、ホームページアドレス、設立年月日について、正しく記入してください。
実施体制	<input type="checkbox"/> 事業を実施する担当者の氏名、役職名、事業における役割を記載してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><審査基準②></p> <p>○事業内容や実施体制は、具体的で実現可能な事業であるか。</p> </div> <input type="checkbox"/> (参加する在留外国人等)では、参加対象の在留外国人数、また、国籍まで記入してください。
活動・実績	<input type="checkbox"/> これまでに、類似の活動を実施している場合は、その取組について記入してください。 <input type="checkbox"/> 在留外国人のために行っている取組等がありましたら記入してください。
現在の課題	<input type="checkbox"/> 団体内で課題と考えられていること、改善したい点などを記入してください。

IV 収支予算書(第1号様式別紙2)

収支計画の妥当性も審査のポイントになります。

<審査基準③>

収支計画は、事業内容に見合っており、補助金が有効に活用されるものとなっているか。

積算根拠	<input type="checkbox"/> 事業費の積算根拠を詳細に記入してください。 例：「〇〇－〇〇間の交通費(往復)〇円×〇人×〇回＝〇円」 ※対象外経費が含まれていないか、必ず御確認ください。
予算額	<input type="checkbox"/> 積算根拠の欄の合計を記入してください。
仕入控除税額	<input type="checkbox"/> 補助対象経費の仕入控除税額を記入してください（課税事業者のみ）。 ※標準税率対象経費：補助対象経費×10/110 軽減税率対象経費：補助対象経費×8/108 ※仕入控除税額が明らかでないものについては御相談ください。
(収入)県補助金	<input type="checkbox"/> 交付を受けようとする額を記入してください。（支出の総額の10分の10以内（上限10万円））
合計	<input type="checkbox"/> 各項目の合計を記入してください。 <input type="checkbox"/> 収入の合計と支出の合計を一致させてください。 ※正しく計算されているか、必ず御確認ください。

事業計画書

申請団体	〇〇市（町・村） 〇〇自治会	
① 取組名	<p>◎取組名は分かりやすく簡潔に！</p> 地域の行事への在留外国人の参加及び交流会等実施	
② 活動内容等	<p>（趣旨・目的） ◎目的の明確性も審査のポイントになります。《審査基準①》</p> 在留外国人が地域で生活するためには、地域住民とのコミュニケーションが必須である。このため、在留外国人の地域の伝統行事への参加や地域住民との交流、県内の歴史見学を行うことで、在留外国人と地域住民の相互理解に繋げる。	
	<p>（実施期間）（実施時期）（実施回数）</p> 事業期間 令和〇年〇月〇日～〇月〇日 伝統行事参加 令和〇年〇月〇日～〇月〇日 交流会 令和〇年〇月〇日 歴史施設見学 令和〇年〇月〇日	<p>（実施場所・施設名）</p> 〇〇会議室（〇〇市） 〇〇公民館（〇〇市） 〇〇園（〇〇市）等
内容及び内容等	<p>（内容）</p> 地域の伝統行事への参加〇月〇日～〇日の期間で〇回行う。1回〇時間。行事参加後、地域住民の方も交えて〇時間程度、交流会を開催する。 交流会の内容は・・・ →◎実施内容をより具体的に記入！ また、〇月〇日には、貸切バスで県内を巡り、鹿児島県の歴史を知る機会を設ける。（推進体制、事前準備等）〇〇が中心となって、全体を総括する。〇〇の協力を得ながら推進する。〇〇市（町・村） 〇〇課に協力を依頼し、地域住民への案内を行う。… 〇月 事業終了後の振り返り、精算処理等 →◎事業の具現性（事業計画や実施体制は具体的か。）も審査のポイントです。《審査基準②》	
	<p>（事業参加者数）</p> 〇人	<p>（うち在留外国人参加者数）</p> 〇人
<p>→◎参加在留外国人数についても、審査のポイントです。《審査基準⑤》</p>		
<p>（期待される効果）</p> 在留外国人と地域住民とが交流を図ることで、〇〇〇となる。また、鹿児島県について知る機会を設けることで、〇〇となり今後の〇〇〇が見込まれる。		
<p>（事業終了後の取組内容）</p> 次年度以降も〇〇や〇〇を行うなど積極的に在留外国人と地域との交流を図り、〇〇の向上をする。 →◎事業の継続性も審査のポイントです。《審査基準④》		

【応募用】

<記入例>

第1号様式別紙1

団体の概要

団体名	〇〇市（町・村） 〇〇自治会	代表者	職	〇〇市（町・村）〇〇自治会長
			氏名	〇〇 〇〇
住所（所在地）	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇番〇号〇〇	電話	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
			ホームページアドレス	http://www.〇〇〇〇〇〇
設立年月日	平成〇年〇月〇日			
実施体制	（事業を実施する担当者等） 責任者 〇〇 〇〇 〇〇自治会長 総括 〇〇 〇〇 〇〇副会長 交流会担当		（参加する在留外国人等） 〇〇 〇人 〇〇 〇〇 〇人 〇〇	
	◎事業を実施する担当者の氏名、役職名、事業における役割を記入してください。 ◎事業の具現性（事業計画や実施体制は具体的な）も審査のポイントです。《審査基準②》		◎参加する在留外国人の国籍・人数（把握できれば、在留資格）などを記入してください。	
活動・実績	〇年〇月 日本文化体験を実施 〇年〇月～〇月 日本語教室（計〇回）を実施 ◎これまでに類似の活動を実施している場合は、その取組について記入してください。 ◎また、在留外国人のために行っている取組等がありましたら記入してください。			
現在の課題	在留外国人が、地域の自治（ゴミ出し、地域清掃、地域行事）や慣習への理解ができず、地域住民と地域での生活を進める上で摩擦が生じている。地域の自治や慣習、在留外国人の文化や習慣等、在留外国人と地域住民の相互理解を図りたい。 ◎団体内で課題と考えられていること、改善したい点などを記入してください。			

※ 規約等を添付すること。

※ 団体等の直近1年間の事業報告書及び収支報告書又はこれに代わるものを添付すること。

※ このほか団体等の活動及び本事業の内容を理解するための参考となる資料があれば添付すること。

収 支 予 算 書

1 収入の部 (単位：円)

収入の項目	積算根拠	予算額
(1) 自己資金等		122
	仕入控除税額等	9,114
(1) 小計	仕入控除税額(D)と自己負担分(千円未満の端数等)の合計を「仕入控除税額等」として記入してください。	9,236
(2) 補助金等		
県補助金(※1)	県補助金	84,000
(2) 小計		84,000
(3) その他		
事業収入(※2)	参加料徴収(500円×15人) = 7,500円	(A) 7,500
(3) 小計	【審査基準③】 収支計画の妥当性も審査基準の対象となります。 (収支計画は、事業内容に見合っており、補助金が有効に活用されるものとなっているか。)	7,500
合計(※3)		(B) 100,736

(※1) 県補助金の予算額は、下記の計算式で求めた額を記入してください。

(※2) 事業実施に伴い収入の見込みがある場合(参加料徴収や成果物販売等)は、記入してください。

(※3) 収入の合計額(B)と支出の予算額(C)は、一致するようにしてください。

積算根拠は、単価や回数等を明確にしてください。

2 支出の部

補助対象経費の項目	積算根拠	予算額 (補助対象経費)	仕入控除税額
報償費	講師謝金：(3,000円×2H×5回)×1人	30,000	2,727
	(課税事業者のみ記入) ・標準税率対象経費：予算額×10/110(小数点以下は切り捨て) ・軽減税率対象経費：予算額×8/108(小数点以下は切り捨て)		
旅費	講師旅費： 鹿児島市⇄〇〇間の交通費(往復) 3,000円×1人×5回	15,000	1,363
需用費	消耗品：お茶代160円×15個×1回	2,400	177
役務費	通信運搬費：切手代84円×4回	336	30
使用料・賃借料	貸切バス使用料：50,000円×1回 会場使用料：750円/時間×4時間	50,000 3,000	4,545 272
その他			
合計(※3)		(C) 100,736	(D) 9,114

計算式

県補助金の予算額は、「予算額(補助対象経費)」から「仕入控除税額」及び「事業収入」を差し引き、千円未満を切り捨てた額です。ただし、上限は10万円となります。

県補助金額

※千円未満切り捨て
※上限：10万円

84,000

= (C) - (D) - (A)

100,736

9,114

7,500